

イーファス骨格調整による姿勢分析の流れ

(2.1)

| 担当 | | 項目 | 詳細・注意 |
|--------------------------------|----|---------------|--|
| 施術者 | 受付 | | |
| | ○ | 施術目的の説明 | 前説「イーファス骨格調整と目的」 「症状における体の状態と原因」 |
| | ○ | 施術前姿勢撮影 | 4方向（正面→左側面→右側面→背面）➡登録 |
| ● | ○ | 動作検査 | 前説「動きやすくなるということは」 ※1.初診は動作検査前に小指チェックがお勧め |
| ● | | 骨盤検査 | 通常徒手で行うが、アクチも有効 |
| ● | | アクチベータ | 距骨チェックも有効 |
| ● | | 検証動作確認 ➡ 患者説明 | 後説「動きやすくなるということは」 |
| ● | | 骨格調整（ポータブルD） | 徒手でも可 |
| | ○ | 施術後姿勢撮影 | 4方向（正面→左側面→右側面→背面）➡登録 |
| ● | | 合成比較 ➡ 患者説明 | ・後説「動きやすくなるということは」 ・健康管理のために定期的な受診指導（リセット） ※股関節チェックなどで わずかな歪みのリスク説明 ※2.説明時の iPad 画面を録画 |
| △ | | 検証動作確認 | 距骨テープやブロックも効果定着に有効 |
| ↓↓↓ | | | |
| 終了（次回予約） もしくは その他の施術を行う | | | |

※1.初診者には動作検査の前に小指チェックなどを行って、体のつながりを認識してもらう

※小指チェックや距骨チェックの反応性は、アクチやドロップの回数目安となります

※2.合成比較を評価・説明の iPad 画面を録画して LINE で送付する